

# UNICORN

日本イエイツ協会会報 2008. 1. 20

## 1. 2007 年度第 43 回大会報告

昨年 9 月 15 日（土）、16 日（日）に開かれました 2007 年度第 43 回大会は、大会開催校北九州市立大学の木原謙一先生のご尽力により、盛会のうちに終了しました。特別講演、シンポジウム、ワークショップ、研究発表いずれも充実したもので、参加者も多く、意義ある大会となりました。

特別講演 “Yeats’ s Last Poems: Modernism, Death, and Self-Encryption” を行なっていただいた Marjorie Howes 氏をはじめ、関係の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

また、御多忙中にもかかわらず、丁寧なメッセージをお寄せいただいたアイルランド大使館広報・文化担当 Aisling Braiden 氏には、深く感謝いたします。氏からのメッセージを以下に掲載させていただきます。

### 43<sup>rd</sup> Yeats Society of Japan Annual Conference

The cultural connections between Ireland and Japan are a flourishing part of the relationship between our two countries, whose 50<sup>th</sup> Anniversary we celebrate this year. Nowhere is this more clearly demonstrated than in the long-standing dedication of the Japanese scholars of Irish Literature and such associations as the Yeats Society.

Yeats, as everyone knows, was and is a towering presence in our literary tradition, and his influence has spread far and wide across the globe. In Japan, particularly, he found a vision of theatre which resonated with him far more strongly than the realism popular among his European contemporaries.

Equally, Japanese authors, academics and literature lovers young and old, have found much to admire and be moved by in Yeats’ works, in his poetry and his celebration of folk traditions in particular. It is nice to note that this year’s conference is being held not on the ‘pavements gray’ of a metropolis but in a location closer to the heart of these deep traditions.

Congratulations to the organisers, speakers and attendees of this 43<sup>rd</sup> Yeats Annual and best wishes for an enjoyable, interesting and fruitful event.

Aisling Braiden  
Press & Cultural Attaché  
Embassy of Ireland Tokyo

## 2. 2008 年度第 44 回大会のお知らせ

第 44 回大会は、2008 年 9 月 6 日（土）、7 日（日）の両日、青山学院大学で開催されます。

大会会場提供の労を快くお引き受けくださった青山学院大学の伊達直之氏をはじめ、関係の皆様にお礼を申し上げます。

ゲストスピーカーとして、愛媛大学の Edward Marx 氏が決定しています。Marx 氏は、*Yone Noguchi, The American Diary of a Japanese Girls: Annotated Edition* (2007) の編著者としても知られています。講演では、ヨネ・ノグチとイエイツに関するお話をさせていただく予定です。

また、シンポジウムは、木原謙一氏の司会・構成により、「イエイツと影響関係のある詩人たち」(仮題)を行ないます。

ワークショップは、岩田美喜氏による司会・構成で「*The Unicorn from the Stars* を読む／読み直す」を行います。

## ★シンポジウムとワークショップの発言者を募集します。

▶シンポジウム「イエイツと影響関係のある詩人たち」（仮題）

イエイツと、詩や詩論の形成において影響関係のある先行詩人・同時代詩人 4 人との比較を行い、具体的に作品に現れた影響を論じます。

イエイツとブレイク

イエイツとシェリー

イエイツとパウンド

イエイツとエリオット

\*参加ご希望の方は、上記詩人 4 人のうちの 1 人をお選びください。

▶ワークショップ「*The Unicorn from the Stars* を読む／読み直す」

中後期の演劇に比べ、これまであまり論じられることのなかったこの作品に新しい光を当てたいという主旨のもと、改作／共作の問題、ナショナリズム、イエイツ演劇の全体像における本作品の意味、などを討議したいと思っております。（岩田）

▶シンポジウム、ワークショップ参加ご希望の方は、電子メールまたは郵便にて事務局までご連絡下さい。応募者多数の場合は、恐縮ですが、研究発表にまわっていただくこともあります。締め切りは 2 月 29 日です。

## ★研究発表者の募集

今回より、発表の形態が増えました。ご応募をお待ちしております。

A. 研究発表（従来どおり）

最近若手の会員の発表が多くなってまいりました。若手の会員だけでなく、中堅以上の会員も是非ご参加ください。

B. イエイツ関連の、ご自分の研究成果の発表や紹介（写真等の使用も歓迎です）。

C. 海外のイエイツ研究の潮流

D. イエイツ関連の研究ノートのな報告

E. テーマ発表

3 人程度で行なうもので、一つのテーマに沿って発表を行なうものです。今回は、

“The Circus Animals’ Desertion” を予定しています。なお、このテーマ以外でも募集しております。

▶参加ご希望の方は、A～E を明記の上、簡単な発表内容を沿えて、事務局宛、電子メールか郵便にて、ご連絡ください。締め切りは 2 月 29 日です。応募者多数の場合は、ご希望に添えないこともございますので、そのときはご容赦ください。

## 3. 『イエイツ研究』第 39 号原稿募集について

皆様からの論文・研究ノートのご投稿をお待ちしております。投稿規定は『イエイツ研究』第 38 号をご覧ください。締め切りは 5 月 15 日です。

## 4. 会費納入のお願い

2007 年度会費（5,000 円）の納入をお願いいたします。同封しました振込用紙にて納入くださいますよう、お願いいたします。すでにお支払いいただいている方には同封しておりません。なお事務処理上の行き違いなどがありましたらお許しください。

## 5. 住所・所属等の変更について

ご住所・所属等に変更がありましたら、事務局にご一報ください。また、お差し支えなければ、E-mail アドレスもお知らせください。ご協力をお願いいたします。

---

日本イエイツ協会事務局

〒259-1292

神奈川県平塚市北金目 1117

東海大学外国語教育センター

奥田良二研究室内

Tel: 0463-58-1211（代表）

Fax: 0463-59-5365

Email: [ryoji.okuda@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:ryoji.okuda@tsc.u-tokai.ac.jp)